

# 本書の特色一覧

## 教育基本法との対応

※表データは弊社ホームページに掲載しています。

教育基本法第2条	『社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして』における教育基本法との対応	本解説書での特色と掲載頁
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各部のはじめに、大きなイラストや資料からの読み取り作業を行うページを設けた。これにより、生徒一人ひとりが自分なりにイラストから学習内容に関する事象を探し出し、<b>主体的に学習に取り組む意欲を高められる</b>ようにした。(p.2,30,104,164)</li> <li>●見開きの導入に、学習内容に関係する実社会の具体事例を数多く取り上げ、生徒の<b>興味をひき、驚きや共感をもって学習を進められる</b>ようにした。これにより社会の制度やしきみと現代の社会とを「橋渡し」でき、生徒自身も<b>社会に参画していく意欲が高まる</b>よう配慮した。(p.90,94,116,134など)</li> <li>●世の中のしくみや概念をわかりやすく解説する図解や、<b>実感をともなった学習ができる「疑似体験コーナー」</b>によって、学習内容の定着を補助し、効率的な学習ができるよう工夫した。(p.121-145など)</li> <li>●すべての本文ページの誌面構成を統一し、「クローズアップ」「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」というコーナーを設置した。本時の学習のめあてや学習のまとめを明確に提示し、「<b>見通し・振り返り学習活動</b>」が<b>しやすい</b>よう工夫した。(全編)</li> <li>●学習単元のまとめごとに、これまで学習した内容を振り返り、しっかり<b>知識を定着できる</b>「学習をふりかえろう」というまとめページを設けた。(p.28,58,86,102,118,146,162,184,196)</li> <li>●本文は、社会のしくみや制度の現状について具体例を挙げ、その意義や背景についてもわかりやすい記述にした。(全編)</li> </ul>	<p>おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-16 特色3 p.17-18</p>
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3部第3章「企業」では、章全体を通じて企業経営を疑似体験し、経営上つぎつぎと起きる問題点に対して自分なりに意思決定をするコーナーを設定した。これにより、知識・理解だけでは伝わらない「<b>働くことのやりがい</b>」を<b>実感し、自分が将来働くに当たっての意欲を高められる</b>ように工夫した。(p.121-145など)</li> <li>●実社会で活躍する人々の生の声を示す「声」のコーナーを多数掲載し、<b>人々がさまざまな工夫や努力を重ねている姿</b>を臨場感をもって伝え、共感しながら学習できるようにした。(p.55,100,120,130,158など)</li> <li>●学習内容と現実社会の関連を示すコラム「How to…」を全体で4か所設置し、日常生活に学習内容をいかせるように工夫した。(p.81,109,113,167)</li> <li>●ユニバーサルデザインを意識し、すべての生徒が学びやすいように誌面構成や文字、資料の色彩などに配慮した。(全編)</li> </ul>	<p>おもに 特色2 p.13-16 特色4 p.19-22 各部紹介 第3部 p.31-32</p>
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子化・高齢化、グローバル化など現代および将来の社会が直面する課題とそれらへの取り組みを紹介することで、生徒自身も<b>社会の一員として公共の精神をもち、主体的に社会の形成に参画する責任</b>があることを実感できるようにした。(全編)</li> <li>●特設ページ「未来に向けて」や各所に設置されているコラムで企業や地方公共団体による先進的な取り組みを紹介し、持続可能な社会のあり方のヒントになるよう工夫した。(p.5,89,98,142など)</li> <li>●特設ページ「トライアル公民」や「Yes No」コーナーなど、社会が直面する課題や問題点に関して意見をまとめたり、話し合ったりする場面を数多く設定し、学習内容をさらに深め、生徒の<b>自主性や創造性をのばせる</b>よう工夫した。(p.53,56,82,131,154,159など)</li> <li>●第1部第3章「現代社会の見方・考え方」では<b>公民的資質を育む基礎となる「家族」と「地域社会」</b>をそれぞれ1見開きで取り上げることで、個々人の努力と人間どうしの関わり合い・学び合いによって現代社会が成り立っていることへの理解を深められるようにした。(p.18-21)</li> <li>●第2部第3章「国政」では、国会議員へのインタビューから作成した「国会議員が語る政治の現場」というコラムを6か所設置し、<b>国政を身近に感じられる</b>よう工夫した。(p.61-85)</li> <li>●第2部第4章「地方自治」では、地方の政治について自らの意見をもてる「まちづくりを考える」などのコーナーや、政治参加の大切さを伝える本文により、<b>自らを取り巻く社会を良くしようと参画する意識</b>を高められるようにした。(p.89-97)</li> <li>●第3部第4章「財政」では、現在の日本の財政における問題点についての資料などをもとに、<b>将来の日本が目指すべき財政のあり方</b>を生徒が考えることができる本文やコラムを設置した。(p.153,154など)</li> </ul>	<p>おもに 特色4 p.19-22 特色5 p.23-26 各部紹介 第1部 p.27-28 第2部 p.29-30 第3部 p.31-32</p>
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コラム「羅針盤マーク」で環境に関するテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを紹介した。(p.5,189,191,193)</li> <li>●第4部では地球温暖化とその対策について、先進国や発展途上国などさまざまな立場から多角的に考えられるように工夫した。(p.188)</li> </ul>	<p>おもに 特色4 p.19-22 各部紹介 第4部 p.33-34</p>
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コラム「羅針盤マーク」でグローバル化に関するテーマを設定し、国際協力や異文化理解に向けて努力している人々の姿を紹介し、<b>グローバル化した社会で活躍するための意識や知識</b>を身につけられるよう工夫した。(p.11,131,141)</li> <li>●第1部第2章「生活・文化」では、我が国の伝統文化を紹介し、それらを継承し発展させることの重要さがわかるようにした。(p.12-17)</li> <li>●第4部第1章「1 国家と国際社会」では国旗や国歌を相互に尊重することが現代社会の儀礼であることを解説し、我が国のみならず諸外国の<b>国旗および国歌を尊重する態度</b>を養えるよう配慮した。(p.166)</li> <li>●第4部第1章「2 領土をめぐる問題」では日本の領土や領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島が<b>日本固有の領土であることを明記</b>し、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けてどのような方法があるのか考えられるよう構成した。(p.168)</li> <li>●第4部第1章「8 国際社会における日本の役割」では日本の国際協力において、NGOや自衛隊などさまざまな主体が取り組んでいることを紹介し、人間の暮らしから安全保障を考える「人間の安全保障」の考え方の重要性を理解できるようにした。(p.180,182)</li> </ul>	<p>おもに 特色4 p.19-22 各部紹介 第1部 p.5-12 第4部 p.33-34</p>

# 検討の観点からみた内容の特色

※表データは弊社ホームページに掲載しています。

観点	観点の内容	本書の特色	本解説書での特色と掲載頁
内容の程度・分量	教育基本法との関連が十分に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第1条の目標及び教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、社会科の目標や学習内容と関わせた指導を効果的に行うことができるように構成されている(詳細は本資料p.37を参照)。</li> <li>●より良い社会をつくろうと活動する人々や自治体、企業などの取り組みを知ることで、自らも進んで行動し、持続可能な社会の形成を目指す高い志を養えるようになっている。</li> <li>●憲法や人権の学習を通じて、きまりを守ることの大切さや、人権の意義を理解し、さまざまな具体事例を通してこれらを尊重する態度を養えるようになっている。</li> <li>●社会が抱えるさまざまな問題の学習を通して、多様な立場や考え方があることを認識し、それらを広い視野で見つめながら多面的・多角的な視点で問題の解決を目指すことができるようになっている。</li> <li>●日本の伝統や文化の学習を通じて、我が国や郷土を愛する心を育むとともに、他国のさまざまな文化にも目をむけ、それらを尊重する心を養うことができるようになっている。</li> </ul>	p.34 およびおもに 特色4 p.19-22 特色5 p.23-26 各部紹介 p.27-28
	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「この教科書の学習の仕方」では、単元構成と学習内容、コーナーの意図や役割が一望でき、<b>学習の位置づけや見通しがつきやすい</b>ように工夫されている。(p. I-III)</li> <li>●知識を確実に習得できるようにいねいな解説をし、それを活用できる場面が設けられ、さらに積極的に活用しようとする態度の形成を促す本文やコラムがバランス良く盛り込まれ、<b>公民的資質の基礎を養う</b>ことができるよう配慮されている。</li> <li>●学習指導要領で重視されている「<b>対立と合意</b>」「<b>効率と公正</b>」の<b>見方や考え方</b>について、第1部第3章のマンシヨンの事例、「Yes No」コーナー(6か所)など、全編にわたって充実している。</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16 特色4 p.19-22 特色5 p.23-26
	各単元・見開きの分量は、ねらいや発達段階に応じて偏りなく適切で、系統性が考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1見開き1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。</li> <li>●授業数は、第1部に12時間(第1章4時間、第2章3時間、第3章5時間)、第2部に31時間(第1章2時間、第2章11時間、第3章12時間、第4章6時間)、第3部に25時間(第1章3時間、第2章4時間、第3章12時間、第4章6時間)、第4部に15時間(第1章10時間、第2章5時間)、第5部に7時間が配当され、標準授業時間数100時間のうち90時間を活用する配当で、適切である。予備時間は10時間設けられている。</li> <li>●政治単元(第2部)は民主主義の意義が最初に、経済単元(第3部)は、経済主体の分業と自分との関わり(第1章)および消費生活の基礎知識(第2章)が最初に取り上げられ、以降の学習にいかされるよう工夫されている。</li> </ul>	おもに 特色3 p.17-18
	内容の程度・範囲・及び文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会のしくみや現実の姿を実感でき、<b>背景や因果関係までわかるかみ砕いた本文</b>になっている。</li> <li>●本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付され、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。</li> <li>●文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすくなっている。</li> <li>●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒が読んで理解しやすいいねいな本文を基本とし、それを補足する図解が豊富に設置されている。</li> <li>●各見開きは、本文、資料、側注などが<b>統一したレイアウトで配置され誌面の使い方が整理されている</b>。学習内容が定着するよう、「<b>見通し→本文→振り返り</b>」という展開で<b>構造化</b>されている。</li> <li>●本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、学習内容を効果的に理解できるとともに、効率良く資料の活用ができるように工夫されている。</li> <li>●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒の集中を切らさないで授業を進められる。</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16 特色3 p.17-18 各部紹介 p.29-32
内容の扱い	基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得でき、学力向上に寄与するよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見開き1時間の誌面が、<b>興味・関心を引く「導入」→学習のめあてを見通せる「学習課題」→ていねいでわかりやすい「本文」→学習事項を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の流れで構造化</b>され、基礎的・基本的な知識や技能、概念が確実に習得できるように配慮されている。</li> <li>●各部の構成を統一し、「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を概観し、「学習をふりかえろう」で学習内容を復習できるようになっている。</li> <li>●本文は、全編にわたり社会的現象のしくみや概念がわかるように因果関係をふまえたうえで、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。</li> <li>●文章で書かれた内容を補足し理解を促進する、<b>わかりやすい図解</b>が多数掲載されている。</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-16 特色3 p.17-18
	生徒の興味・関心を喚起させ、主体的に学習に取り組む態度を形成できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広の判型(AB判)にして誌面をワイドにすることで、写真や地図や図解などが大きく見やすく提示され、学習内容への興味・関心が喚起されるように工夫している。</li> <li>●各部の導入として、学習内容を概観できるイラストや写真資料の「<b>学習の前に</b>」が設けられ、<b>学習内容と生活との関連を見出してから学習に入ることができる</b>ようになっている。</li> <li>●各見開き左上に、1時間ごとの導入コラム「<b>クローズアップ</b>」が設けられ、これから<b>学習する内容と実社会との関係について、事例を通じて実感をともなって学習</b>できるように工夫されている。</li> <li>●第3部第3章では疑似体験コーナー「<b>パン屋の経営者になってみよう</b>」が設置され、学習内容の理解を補助し、<b>いきた知識として習得</b>できるよう工夫されている。</li> <li>●生徒にとって親しみやすい中学生などのキャラクターが適宜配置され、発問や気づき、学習の手がかりなどを提示することで、主体的に学習へ取り組めるように配慮がなされている。</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-16 特色4 p.19-22

観点	観点の内容	本書の特色	本解説書での特色と掲載頁
内容の扱い	正確かつ公正であり、 <b>多面的・多角的に考察</b> することで社会的な <b>見方や考え方の基礎を養</b> えるよう配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方がいねいに説明され、実践的に身につけられる活動が設置されている。(p.22-27)</li> <li>●特設ページ「トライアル公民」や「Yes No」コーナーなどでさまざまな立場の人の意見が掲載され、これらを尊重することを促し、<b>多面的・多角的な見方や考え方が養</b>えるようになっている。</li> <li>●社会で実際に活動している人々の生の声を紹介する「声」コーナーが随所に設けられ、生徒が関心をもてるようになっている。(p.122「開発者の声」など)</li> </ul>	おもに 特色4 p.19-22 特色5 p.23-26
	<b>他分野との接続</b> に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●側注欄に、「地理・歴史をふりかえる」コーナーが設けられ、<b>地理的分野や歴史的分野で学習した内容を再確認</b>できるよう、関連用語が提示されている。</li> <li>●掲載資料に積極的に地図や年表が取り入れられ、地理的分野・歴史的分野の学習成果が活用できるよう配慮されている。</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16
学習活動	<b>「見通し・振り返り学習活動」</b> に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文のページには、本時の目標を示した「学習課題」と、学習内容の復習ができる「確認しよう」「説明しよう」が記載され、<b>「見通し・振り返り学習活動」がしやすい構成</b>になっている。</li> <li>●各部の構成が統一され、各部の導入ページ「学習の前に」のイラストや資料から学習内容を概観し、「学習をふりかえろう」で学習内容が復習できるようになっている。</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-12 特色3 p.17-18
	<b>「習得」「活用」「探究」</b> の学習活動を展開できるような内容の質・量の充実がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「技能をみがく」コーナーが7か所設けられ、ロールプレイングや文章などで表現することにより、習得した知識・技能を活用できるようになっている。(p.26,57,65,83,97,145,155)</li> <li>●「学習をふりかえろう」内の「学習の前に」をふりかえろう」には、学習内容を深める設問が設けられている。</li> <li>●第5部第1章には、中学校社会科のまとめとなる社会の諸問題を探究する活動が示されている。1000字程度のレポートの書き方が、順を追っていねいに説明されている。</li> <li>●本文のページ脚注欄に適宜「第5部のテーマ例」が記載され、第5部でレポートを書く際に<b>学習内容を振り返ることができる</b>よう工夫されている。</li> <li>●「学習をふりかえろう」には、第5部のレポートにつなげられるよう、小レポート作成の作業が設けられ、自分の言葉でまとめたり、表現したりできる。(p.28,58,86,102,118,146,162,184,196)</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-12 特色5 p.23-26 各部紹介 p.35
	<b>言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育くむ</b> よう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文のページの見開きの右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項の確認が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられ、<b>言語活動を毎時間くり返し行うことができる</b>よう工夫されている。</li> <li>●第5部では社会の諸問題を探究する活動が示されている。第1部～第4部末の「学習をふりかえろう」では「第5部の準備として」が、本文のページにおいては脚注欄に「第5部のテーマ例」が示されており、思考力・判断力・表現力が向上するよう工夫されている。(詳細は前述)</li> </ul>	おもに 特色3 p.17-18 各部紹介 p.35
	<b>「個に応じた指導」</b> が展開できるよう、補充的な学習や発展的学習、 <b>協働学習</b> などへの配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●わかりやすい本文や、それを補足する図解で、<b>基礎的・基本的な学習内容が定着できる</b>ようになっている。</li> <li>●公民的な見方・考え方を養い、<b>協働的な学びが実践でき、学習を一層深められる</b>特設ページ「トライアル公民」が7か所設置されている。(p.26,56,64,82,96,144,154)</li> <li>●本文のページ内にも、適宜協働学習を促す設問や作業指示が設けられている。</li> </ul>	おもに 特色2 p.13-16 特色5 p.23-26
今日的な課題への対応	<b>生徒が家庭でも主体的に自学自習</b> できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、できるだけ<b>軽い紙と軽量な製本様式</b>が用いられている。</li> <li>●「この教科書の学習の仕方」が掲載され、自学自習がしやすくなっている。(p.Ⅲ)</li> <li>●本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを取り上げ、下部に本文を掲載する<b>学習しやすいレイアウトに統一</b>されている。また、相互にリンクが貼られ、資料が活用しやすいよう工夫されている。</li> <li>●本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設置され、予習・復習をしやすいようになっている。また、単元のまとめになる「学習をふりかえろう」も復習をしやすいよう配慮されている。</li> <li>●部ごとに各見開きの色が統一されているとともに、誌面右端の見出しには、章の学習内容が記載されていることで、<b>一目で学習している単元がわかるように配慮</b>されている。</li> </ul>	おもに 特色3 p.17-18
	<b>「持続可能な社会」</b> の実現に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1部第1章冒頭で持続可能な社会の概念を説明し、第5部で自らの考えをレポートにまとめるまで、<b>段階的に生徒の思考が深まっていくように工夫</b>されている。(詳細は前述)</li> <li>●「少子高齢化」「グローバル化」など現代および将来の社会が直面する課題を取り上げたコラム「羅針盤マーク」が20か所設置され、持続可能な社会の実現のために取り組む人々の姿が紹介されている。</li> <li>●本文では、現代や将来の社会が抱える課題と、その解決に向けた取り組みやヒントが提示され、生徒のより良い未来をつくらうとする<b>意欲を喚起</b>できるようになっている。</li> <li>●特設ページ「未来に向けて」では、持続可能な社会のあり方や、地方公共団体や企業の先進的な取り組みが紹介されている。(p.142,160,194)</li> </ul>	おもに 特色4 p.19-22 各部紹介 p.35

観点	観点の内容	本書の特色	本解説書での特色と掲載頁
今日的な課題への対応	環境教育に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第4部第2章では地球規模の環境問題について、その原因や背景から、解決に向けた取り組みまで紹介されている。</li> <li>●コラム「羅針盤マーク」において、環境をテーマとして取り上げている。(p.5,189,191,193)</li> </ul>	おもに各部紹介 p.33-34
	防災に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特設ページ「未来に向けて」では、さまざまな地域の防災への取り組みが紹介され、<b>自分の住みまちの防災を考えるきっかけ</b>になるよう工夫されている。(p.98)</li> <li>●東日本大震災や阪神淡路大震災を事例として取り上げ、防災の重要性を強調するとともに、地域ぐるみでの取り組みの大切さを知ることができるよう工夫されている。</li> </ul>	おもに特色4 p.19-22 各部紹介 p.27-28
	我が国の領域をめぐる問題へ配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の領土や領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島が<b>日本固有の領土であることが明記</b>され、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けた方法が考えられるようになっている。(p.168)</li> </ul>	おもに各部紹介 p.33-34
	人権教育の推進を図るための工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おもに第2部第2章「基本的人権」で人権の意義や課題が取り上げられているとともに、「人権」をテーマにしたコラム「羅針盤マーク」が設置され、人権に関する課題の解決に向けた取り組みを紹介している。(p.51「子どもを守るために」など)</li> <li>●第2部「政治分野」や第4部「国際分野」の「説明しよう」では、生徒が人権について考え、自分の言葉で表現できる設問が設けられている。</li> </ul>	おもに特色4 p.19-22 各部紹介 p.29-30
表記・表現	統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られるなど活用するにあたり効果的であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に掲載され、学習を深められるようになっている。</li> <li>●学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、条文参照などのリンクが設けられ、資料の活用を促している。</li> <li>●資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が設置され、資料の活用を促している。</li> <li>●p.52「監視カメラをめぐって」など、現実の問題から学習内容を深めることができる資料が掲載されている。</li> <li>●本文を深めるために必要な語句を解説した「解説」のコーナーが側注欄に45か所設けられている。(p.35「法の支配」など)</li> </ul>	おもに特色2 p.13-16 特色3 p.17-18
	カラーユニバーサルデザインへの配慮が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料は、<b>色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様</b>が使われている。</li> <li>●グラフなどの色線は、線種、記号などで差がつけられ、見分けやすいようになっている。</li> <li>●色数の多いグラフや地図には模様を使用され、色以外での区別ができるよう配慮されている。</li> </ul>	おもにユニバーサルデザインへの配慮
装丁等	紙質や印刷の鮮明度などは良好で、使用上の利便性に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●写真の印刷は鮮明で見やすくなっている。</li> <li>●図版は、記号や注記文字がよく読み取れるようになっている。</li> <li>●紙は、反射を抑えつつ鮮明に発色し裏写りせず、かつ文字も書きこめる軽量なものが使用されている。</li> </ul>	おもにユニバーサルデザインへの配慮
	造本は長期間の使用に耐えるか。生徒が使いやすい工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表紙の材料は引き裂き、引っ張り、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩耗・汚れを防ぐため、ポリプロピレンシートが貼られているため、長期間の使用に耐えられる。</li> <li>●製本は、従来の針金綴じよりも強度があり、かつ、重量の軽いPUR製本が用いられている。これにより本が大きく開くため、掲載情報量が増えるとともに、机の上に開いたまま置くことができる。</li> </ul>	おもにユニバーサルデザインへの配慮
	用紙・インキ等環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかからつくられるライスインキが使用され、<b>環境保全と地産地消</b>への配慮がなされている。</li> <li>●針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。</li> </ul>	おもにユニバーサルデザインへの配慮
その他	特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カラーユニバーサルデザインへの配慮がなされている(詳細は前述)。</li> <li>●図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすく、またちらつきを抑える工夫をしている。</li> <li>●各見開きのデザインは、本文、資料、側注などが統一したレイアウトで配置され読面の使い方が整理されており、生徒が学習しやすいように配慮がなされている。</li> <li>●部ごとに各見開きの色が統一されているとともに、読面右端の見出しには、章の学習内容が記載されていることで、一目で学習している単元がわかるように配慮されている。</li> <li>●本文などでは、文字がはっきりと読み取ることができる<b>ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)</b>が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。</li> <li>●図版、写真、イラストは幅広の判型(AB判)の大きさをいかして大きく掲載されており、生徒が読み取りやすく、考えることができる資料になるよう配慮されている。</li> <li>●反射を抑えた紙が用いられ、読み取りやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	おもにユニバーサルデザインへの配慮
	サポート体制・周辺教材等はどのようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師用指導書、デジタル教科書(指導者用・学習者用)、拡大教科書、および準拠問題集が平成28年4月までに発刊される予定となっている。</li> </ul>	おもに裏表紙